

独立行政法人 森林総合研究所

http://www.ffpri.affrc.go.jp/
お問い合わせ：男女共同参画室
geneq@ffpri.affrc.go.jp
029-829-8360

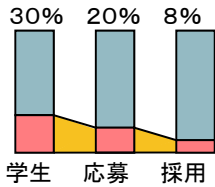
文科学科学技術振興調整費女性研究者支援モデル育成事業



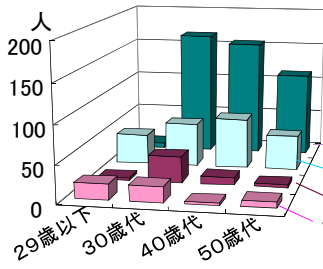
応援します！
家族責任を持つ女性研究者
エンカレッジモデル
FFPRI Encourage Model



大学・大学院の森林関連学部での女子学生比率は3割を超えるが、森林総研における最近3年間の女性採用比率は8%



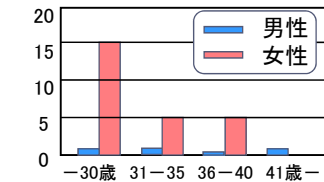
女性割合の推移



森林総研における女性研究職員は1割であり、その約7割が出産・育児年代の30代

現状と問題点

中途退職者のほとんどが女性研究者



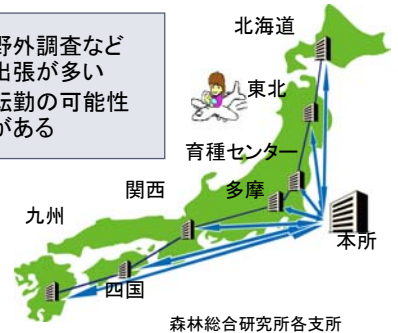
中途退職者退職時の年代別男女別割 (1992～) (除、大学他研究機関への転出)



野外調査の様子



野外調査など出張が多い
転勤の可能性
がある



森林総合研究所各支所

女性研究者のキャリア形成が困難

①推進体制の整備

- ・時間短縮勤務の検討
- ・休暇制度の改善検討
- ・子育て支援などの相談窓口設置
- ・裁量労働制の導入(研究職員)

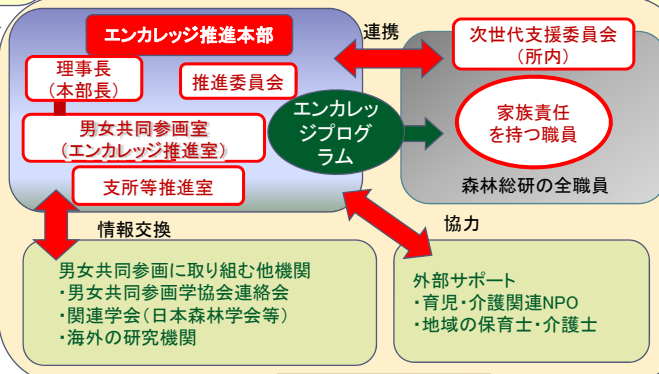


実施内容



②育児・介護のサポートシステム

- ・育児・介護研究者に対する研究支援 (PC, 研究用ソフトウェアの貸与、研究補助者の雇用)
- ・所内保育所の開設
- ・出張・緊急時サポート体制整備
- ・保育・介護等の情報提供



H19 研究支援状況 (支援を受けた人数)

	女性		男性		計
	育休	他	育休	他	
PC貸与	4	5	1		10
研究用ソフト貸与	4	6	2		12
研究補助員	3	4		1	8
委託分析作業	1	1			2

③IT環境の整備

- ・テレビ会議システムの構築 (本所一支部間)
- ・Webミーティングシステムの構築 (研究所一自宅間)



実施体制

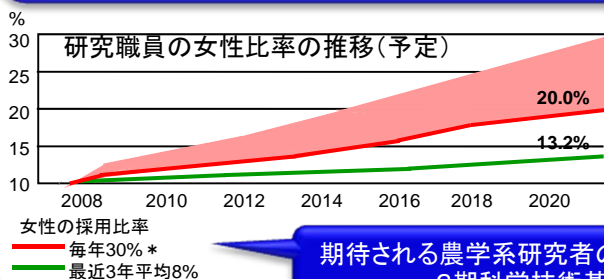


④次世代研究者育成支援

- ・男女共同参画意識の啓発活動 (所内意識調査、研修、シンポジウムの開催)
- ・女性研究者応募促進のための広報活動
- ・採用時の家族責任履歴の配慮

達成目標

1. 出張・転勤、緊急時のサポート体制の100%整備(本支所)
2. IT環境の100%整備(本一支部間、研究所一自宅間)
3. 応募者・採用者の女性比率を30%に
→ 将来的には全研究職員の女性比率を関連大学のそれと同等に
4. 家族責任が原因となる中途退職者ゼロに



期待される農学系研究者の女性採用目標(第3期科学技術基本計画)



総括責任者: 理事長 鈴木和夫
実施責任者: 男女共同参画室長 金指あや子

エンカレッジモデルの特徴

- ・男性や事務部門職員も利用できる
- ・子育てだけではなく、介護に関する支援も含む
- ・情報格差をなくし、在宅の勉強や論文執筆を支援する(Web会議、情報の共有等)
- ・共働き家庭でなくても、配偶者の病気や通院時の育児サポートなど柔軟に対応